

## 西予市総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年1月22日(水) 10:00~12:00
- 2 開催場所 西予市役所5階大会議室
- 3 出席者 **【委員】**  
佐藤恒夫、二宮紀夫、石野満章、坂本世津夫、西口千年、稲田博  
(欠席) 宇都宮美由、樋口志保  
**【行政】**  
三好総務企画部長、一井まちづくり推進課長、山下まちづくり推進課長補佐、  
まちづくり推進課職員
- 4 議 事
  - (1) 総務企画部長あいさつ
  - (2) 自己紹介
  - (3) 委嘱状等の説明
  - (3) 会長及び副会長の選出
  - (4) 審議会へ諮問
  - (5) 協議事項 第2次西予市総合計画基本構想の変更について
- 5 会議資料
  - (1) 次第
  - (2) 委員名簿
  - (3) 西予市総合計画策定条例【資料1】
  - (4) 西予市総合計画審議会条例【資料2】
  - (5) 総合計画審議会概要説明資料(PPT)【資料3】
  - (6) 第2次西予市総合計画改訂版(案)【資料4】
  - (7) 新旧対照表【資料5】
  - (8) 国の地方創生総合戦略(概要)【参考】

## 【開会】

会長の選出まで、一井まちづくり推進課長が進行を行う

## 【総務企画部長あいさつ】

「西予市総合計画審議会」の開会のあたり一言ごあいさつを申し上げます。

一昨日は大寒であり、一年で最も寒い時期といわれていますが、今年は年明けから穏やかな日が続いており、未だ積雪もないということで暖冬でありますけど、異常気象が続く中で近年自然災害が多発しております、今年こそは災害のない穏やかな年であってほしいと願っているところでございます。

皆さまにおかれましては、本日は年始の大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

第2次西予市の総合計画ですが、本日も委員としてご出席をいただいております愛媛大学の坂本先生をはじめ、市内外の多くの方のご協力をいただき、平成28年4月に策定され、令和6年度までの9年間、市の最上位計画として推進をしております。

さて、総合計画には「変革、それこそ夢と希望を叶える唯一のすべである」という副題がございます。人口減少、超高齢化は我が国におきまして、止めることのできない課題です。西予市においても、予想を上回る速度で、人口減少、高齢化は進んでおり、これらの課題を乗り越えるため、新たな一歩となる「変革」が必要であると感じております。

令和2年の市役所の仕事始め式では、総合計画の基本理念である「常に危機感、常にチャレンジ、常に一歩先行く、常に市民と共に手を取りあつて」を意識した上、それぞれの関連業務で抱えている課題を乗り越えるための「変革に挑戦する」よう市長から訓示がありました。改めて、全職員が一丸となり「変革」に挑戦し市政の維持発展を目指しているところです。

本日は、時代に即応した総合計画とするため、総合計画の根幹ともいえる基本構想の変更について審議をしていただきます。この後、事務局より、変更内容等についてご説明をいたしますが、ぜひとも忌憚のないご意見をいただきまして、よりよい総合計画となるようご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくようお願い申し上げます。

## 【自己紹介】

出席委員及び事務局の紹介

## 【委嘱状等の説明】

委員委嘱を行い、任期は西予市総合計画審議会条例、第4条の規定に基づき、諮問された事項に係る調査審議が終了されるまでとなっている旨を伝える。

### 【会長及び副会長の選定】

事務局	<p>続きまして、次第3の会長、副会長の選出を行います。</p> <p>西予市総合計画審議会条例、第5条の規定により、会長、副会長は、委員の互選により選出することとなりますが、推薦などございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、事務局案を提案させていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
事務局	<p>それでは、事務局案として、会長に愛媛大学教授の坂本委員、副会長に西予市商工会事務局長の二宮委員を推薦いたしますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	(拍手、一同承認)
事務局	<p>会長に坂本委員、副会長に二宮委員という決定をいたします。お二人は前の会長・副会長席に移動をお願いいたします。</p> <p>会 長：坂本 世津夫</p> <p>副会長：二宮 紀夫</p> <p>それでは、坂本会長、二宮副会長から就任のご挨拶をいただき、その後は、西予市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、会長が議事進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>愛媛大学社会連携推進機構で愛媛大学地域協働センター南予の副センター長をしている坂本です。重責ではありますが、西予市第2次総合計画の基本構想について審議していきますので、よろしくをお願いいたします。策定に引き続き変更についても会長となりますが、皆様何卒宜しくお願い致します。</p>
副会長	<p>一生懸命務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。</p>

### 【審議会へ諮問】

事務局	<p>それでは、市長の代理で三好総務企画部長から会長へ「第2次西予市総合計画基本構想の変更について」諮問させていただきます。</p> <p>(三好部長から坂本会長へ諮問)</p>
-----	---

### 【協議事項 第2次西予市総合計画基本構想の変更について】

会長	<p>議事に入る前に、冒頭で事務局より報告がありましたとおり宇都宮委員、樋口委員は欠席となり、6名の委員による審議となりますが、過半数以上の出席、西予市総合計画審議会条例 第7条第2項の規定により、本日の審議会は成立いたします。</p>
事務局	配布資料3により説明
会長	<p>事務局から説明で国が進めているまち・ひと・しごと創生総合戦略の兼ね合いについてありましたが、皆さんとの確認、意識統一のために説明をさせて</p>

	<p>いただきたいと思います。</p> <p>総合計画は市の最上位計画であり、これを変更するにあたり、審議会で審議する必要があり、総合計画の実行性というところでプロジェクトマネジメントを重視する必要があるということを平成 28 年 4 月に策定したときにこれを決めています。その中で西予市総合計画審議会と同等の委員会を設置し概ね 3 年に 1 度程度審議することを記載しており、この委員会がこれに相当します。</p> <p>国の創生総合戦略も 5 カ年が経過しようとしており、その目的は「人口減少対策」となっています。西予市の総合計画も内容的に似ていますが、その目的は「西予市のいろいろなものを整備し、西予市がさらに良くなるためにまちづくりを行っていくもの」で、表れている施策はほぼ同じです。説明の中で、西予市の総合計画と国の創生総合戦略の一体性、資料 3 の 4 ページの右側となりますが、これを行っていく必要があるが、国の政策は 4 年間経過しているが人口減少に歯止めはかかっていないので、政策の有効性を見直すのと同時に、3 年間経った西予市の総合計画も微修正していく必要がある。豪雨災害や市政懇談会の意見をもらい見直していくのと同時に、国の施策も見直され、昨年 12 月に第 2 期の創生総合戦略の素案が出され、その説明が行われました。それを踏まえて今回総合計画の変更をしてよろしいかという諮問となり、今月末には答申をして前に進めなければいけません。今回は総合的な部分を皆さんに見てもらい、変更についてご意見いただきたいと思います。事務局から説明があった内容について、意見があればご意見を伺いたいが、いかがでしょうか。</p> <p>委員 会長 事務局 会長</p> <p>(意見無し)</p> <p>具体的に、西予市の総合計画は西予市の最上位計画であるが、2025 年までの 10 か年の計画であるが、この計画に基づいてすべての施策が作られていきます。実施計画を行っていくうえで行う施策の最上位計画を変更していかなければならないので、具体的な変更内容について事務局から説明を行います。</p> <p>配布資料 4 及び資料 5 により説明</p> <p>補足説明として、資料 5 の新旧対照表、過去の数値に変更が生じているが、統計データは、過去に遡及して計数の改定を行うため、過去の数値も変わる場合があることを説明</p> <p>ただいま、資料 4 の基本構想の変更点の説明でありました。変更するために 3 年に 1 度ぐらい見直しするということで、審議会に相当するものを設置し、検証審議するということとなります。この 3 年間で変わってきたものとして、人口の推移、企業の状況・業態、人の移動が代わり、今回基本構想の変更に盛り込みたいということになります。最初の総論で市の状況を説明し、25 ペ</p>
--	---

ージで未来の姿から基本構想となり、この部分が非常に重要となる。数字が大きく変わっているので数字を前提として政策を作っていなければいけないので、数字を修正していく部分で総論の修正があります。

25 ページ目以降の基本構想の部分は文面的に大きく内容を変えています。国の創生総合戦略でもキーワードとして、society5.0 と SDGs を挙げています。国はどこでも ICT を活用できる環境とソフト・ハードウェアも含めて整備を推進していかなければいけません。日本は先進国であったが society5.0 が浸透していないので、諸外国に比べて遅れています。SDGs は 20 年前には持続可能な社会をどのように作るかということを決めているが、これら二つの概念を総合計画に盛り込んでいかなければいけません。今回それを含めて審議してもらい、先ほどの説明で気になることや誤字脱字など細かい部分をチェックしていただきたいと思います。内容が固まった後になるが、組織が変わっていく、まち・ひと・しごとがシンプルに戦略的に組織形態を変えて進めていくということだったが、ジオパークがまちづくりからしごとによって観光になっていたり、国際化が人材育成から違う分野に代わっていたりするなど変更点があるが、全体の細かい部分を見て、ご意見をいただきたいと思います。

資料 5 の変更点についてだが、45.1%という高齢化率だが、45.5%と増えているがこの要因が何なのか。これでは人口も減っていくので人口を維持していくのだが、人口の維持は国の戦略でもあるが、西予市としても人口を増やす戦略を考えていかなければいけないので、1 ページ目があります。

2、3 ページ目は、人口推移を定義に基づき、高位か中位か低位か 4 ページ目の高位推計の 2060 年に 19,403 人、更に 2025 年は総合計画ではもっと人口が多いわけですが、これを目標としてやっていかなければいけません。数値目標は非常に大事で、数値がないと目標は立てられないし、施策も立てられないし、意識も変わりません。この中身の数字は多少違っている部分があるかもしれません。

また、統計の仕組みの中で過去の数字はどんどん変わっていくので、数字の減少傾向を見てもらいたいです。5 ページ目も過去の数字を新しい数字に入れ替えており、6 ページ目も 2011 年度と平成 23 年度の数字がかなり違いますが、統計の関係でどちらも間違いではありません。7 ページ目もそのことを踏まえて変更を行っています。8、9 ページ目は転入・転出先が大きく変わっています。策定時には転入の 1、2 位が大洲市、愛南町になっていますが、今回は八幡浜市、宇和島市に変わっています。この違いが何なのか、これを計画の裏に考えていかなければいけません。転出も同様です。10 ページ目で、平成 31 年度とあるが、平成 31 年度は 1 カ月しかないが、平成 31 年

	<p>度で良いのでしょうか。県の統計では令和元年度になっていたのをそこを審議していただきたい。</p> <p>西予市の高齢化率は県内の市の中で、最も高いのでこれを変えていくにはどのようにしたらよいのか。人口推計を見ても、56,175人という数字は合っているが途中の数字から変わってきています。統計の関係だと思うので、新しい数字が正しいという考えでやっていかなければいけないと思います。残りの多くは数字の修正であるが、具体的には25ページ目以降で、27ページ目は文言の修正が重要になってきていて、新旧対照表では16ページ目以降がこれでいいのか、抜けている項目がないのか見てもらいたい。これについて、順番にご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>資料を事前に確認したが、変更前と変更後の数字の違いの仕組みは先ほどの説明で理解できました。見た方もそのような捉え方をするかもしれないので、注書きで補足をする必要があるのではないかと感じました。最新の数字でより具体的になっているので見やすくなったという印象です。</p>
委員	<p>国の方針を入れていかなければということなので、国の方針に準じて変更されているので、これで良いと思います。交流人口の増加とあるが、定義が不確定であり、現実的に交流人口をどのように迎え入れるのかということを見ると、実際はなかなか難しいと思いました。</p>
会長	<p>関係人口という言葉があるが、交流人口や関係人口を計画に盛り込む予定でしょうか。</p>
事務局	<p>基本構想ではこのような内容であるが、実施計画や事務事業では、例えば移住において、今後相談があるのは、農業の関係で東京から農業をしたり、農業政策で市にアドバイスをしたりすることに対して、国が50万円の補助金をつけますという政策が出されました。そういうことが事務担当者の中でできるかどうかを協議している最中です。</p>
委員	<p>新旧対照表の内容は、実際に則した内容になっていると思うので問題ないと思います。内容云々ではないが、農協としては、研修センターを立ち上げて、他地域から研修に来ていただいて、農作物を作ってもらって西予市でやってみようかという人の受け入れを行っています。ここ数年で数名の新規就農者もありました。特に大きな人口増加のためではないが、産業を守っていくうえで、そういった事業を展開しているので引き続き農協でも行っていきたいと思います。地域に住んでいて感じることは、転出が多いので人口減少をしているが、宇和町ではアパートがどんどん建設されており、人口減少率が少ない印象がある。人口が減るという中で、いろんな状況があるのだと感じました。</p>
委員	<p>基本構想なので、問題ないと思う。これを行うための実施計画が一番重要だ</p>

副会長	<p>と思うので、絵に描いた餅にならないようにということを懸念しているが、体系図を見ると事業を減らしている箇所があるが、そのことによりできなかったことがないように取り組んでいかなければいけないと感じました。</p> <p>総合計画が平成 28 年にできたが、標記の仕方として、統計の数字が年数の経過に伴い見直されて変わっているものは置き換える必要があるのもそれはそれで良いが、資料 5 の 1 ページでは、最初の記述は「平成 27 年 4 月時点の人口は・・・。」と書いているが、3 年に 1 度見直した時に、その文言は削除されており、「平成 31 年 4 月の本市の人口は・・・。」という書き出しになっています。そうすると、3 年後の見直し時の書き出しには「令和 4 年 4 月時点の本市の人口は・・・。」という記述になってくるが、平成 27 年時点の人口は間違いではないので、その記述を残し、平成 31 年の状況を追記していくような形の方が基本構想策定時の数字が見直しの度に削除されないのが良いのではないかと思います。他の部分においても、同様のことが起こっており、構想策定時の数字はどんどんなくなっているので、どちらが正しいかわからないが、最新の数字を追記していくような形の方が当初の数字が分かっているのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
会長	<p>前のものと見比べれば分かるが、それだけでは分からない。その記述の方法について、事務局はどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>ご指摘の内容については、事務局としても同様に考えていました。残さなければいけない箇所は残すように心がけており、必要な箇所については、平成 27 年度の数字を掲載している。ここはこうした方が良いということを具体的に示していただけば、事務局として修正を行います。</p>
会長	<p>過去の数字を全て入れてしまうと分からなくなる部分があります。資料 1 ページ目の場合は、次の段に記述があります。</p>
副会長	<p>事務局も迷われていると思うが、他の場所については、最新の数字に置き換えるのは重要だが、作成当初の数字をどこかに置き換えるような工夫をしてもらいたい。</p>
会長	<p>すべての箇所ではないが、キーになる箇所は過去の数字を残しておくというようなことはできないでしょうか。事務局の提案通りであっても、過去の数字は策定時の資料を見れば把握できるわけであるので、今回の改訂はどうするかを決めるかだけだと思う。</p>
事務局	<p>もう一度改訂があることを想定した場合、文章が複雑になると考えている。新旧対照表を HP に公表して、過去との変更点は分かるようにします。</p>
会長	<p>3 年目の見直しであるが、内容が複雑になるので事務局の提案通りでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(承認)</p>

副会長	資料5の1ページ目の高齢化率が45.1%から45.5%に修正されているが、間違っていたのではなく最新の数字にしたという認識で良いでしょうか。
事務局	その通りである。策定時には45.1%だったということです。
会長	高齢化率が45.1%から45.5%に0.4%上がっていることについて、これが3、4年で上がっているということが一番の問題でその要因が人口の移動、高齢化、子供が生まれにくい、産業が上手くいっていないなどの要因があると思う。各委員のそれぞれの分野について、このような状況を踏まえて意見はないでしょうか。ほかにお気づきの点はないでしょうか。
委員	内容についてはないが、答申は基本構想と新旧対照表で行われるのでしょうか。
会長	答申は修正した基本構想のみを市長に渡すこととなります。 先ほど佐藤委員が発言した、実施計画については今後行政内部で検討していくこととなります。それも含めて、基本的な2025年に目指す数値は変わっていないが、市政懇談会や国の政策運営に対応するのと同時に現状の数字等が変わっていることを踏まえて、多くの分野に分けていた事業をシェイプアップして、3年経って実施していくうえでの方向性が見えてきたので、仕事と組織の見直しを行いたいというところであります。 他に気になるのは、県内の自治体で動いていると見えるのは、西予市だと思う。観光や産業を重視していきたいが、旧5町が一緒になってやっていく環境が十分じゃないのか一緒にやっていかなければいけません。宿泊施設なども見直していかなければいけないし、ジオも重要でまちづくりで行っていたものをしごとの分野として行っていったり、国際化・地域間交流も分野を動かしたりしている。そのほかについては事業をシェイプアップして変更を行っています。 これについてご意見はないでしょうか。
委員	(意見無し)
会長	9ページ目の文化の振興で、「文化施設の適正化と維持」とあるが、施設の適正化とあるがどのようなことを指すのでしょうか。
事務局	文化施設の適正化と維持管理で2つの成果指標を設けています。床面積について、重複した内容の展示等を行っている施設に関しては統合することを考えたり、もう一つはお金を払って見てもらうような施設があるのでその不具合がないかというのを見たりする施策になります。
会長	冊子にする場合、society5.0やSDGsの概念的なものを入れて見えるようにしてはどうかと思うがいかがでしょうか。
事務局	SDGsは今後すべての事務事業がSDGsのどこに該当するのかということを考えながら行っていくことが必要になるので、職員にSDGsについて周知して、

会長	SDGs を意識して事業を実施していかなければいけなくなると思います。Society5.0 については具体的な事業までの想定は具体的な事業などはこれからだが、ICT 分野のことになってくると思います。
事務局	society5.0 についてもすべての分野に関わってくると思います。地域情報化や情報発信のことあたりに関わってくると思います。業務の ICT 化や情報発信については一分野だけではないでしょう。
委員	情報提供と発信の強化は、発信力の強化ということで良いでしょうか。
事務局	その通りです
会長	分かりにくい表現があるが、このような箇所についてもっと分かりやすく書いてはどうかと思います。
委員	行政用語をどうしても多くなっているの、ページ下部に脚注を入れております。
会長	他に意見はないでしょうか。
委員	修正した後は、再度委員に資料を郵送かメールでいただきたいと思います。
会長	答申に関する経過は、私に一任していただいてよろしいでしょうか (承認)
委員	ありがとうございました。
事務局	市長からの諮問内容についての審議は以上で終わります。
委員	本日いただいたご意見を参考に、市政運営に生かさせていただきますようお願い申し上げます。スムーズな進行にご協力いただき誠にありがとうございました。
事務局	それでは、進行を事務局へお返します。
委員	このように総合計画の基本構想を変えるのであれば、もう少し時間の余裕があるように機会を設定されてはどうかと思います。今回の 1 回だけで審議をしたということで、議会に出したとしてもなんでそうなのかということと言われる可能性は高いと思います。変更するのであれば、もっと意見を出してもって改訂する方がよろしいかと思います。
事務局	重要な施策であるのでじっくり時間をかけて行うべきでありましたが、この数字については、統計の数値が徐々に変わっていたことや国の施策が変わったこともありまして、機会を設けて急遽集まっていただきました。今後については、十分に時間を取って対処していきたいと思います。
委員	(承諾)
事務局	本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。
	その他となりますが、事務局からは答申の方法について皆様方にご提案をさせていただきます。会長が事務局と相談の上、答申書をまとめていただき、西予市総合計画審議会を代表いたしまして、会長より市長に答申書をお渡し

<p>委員 事務局</p>	<p>いただきたいと思いますっておりますが、よろしいでしょうか。 (承認) それでは、坂本会長、ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。 長時間に渡り、ご協議いただきありがとうございます。委員の皆様方からのご意見を活かし、より効果的な地方創生の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力賜りますようお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>閉会にあたり、二宮副会長より、ごあいさつをいただきたいと思います。総合計画自体も一昨年の豪雨災害を受けて足踏みをせざるを得なかったという話が先ほどありました。商工会を代表して参加しているので、そのことに触れさせていただきたいと思います。今回の豪雨災害で商工会の会員さんも大きな打撃を受けられた事業所さんがたくさんありました。皆さんが事業を辞められるのではないかと心配をしていたが、市では、市単独の復興補助金という事業をいち早く打ち出してもらい、ともに支援活動を行ってきました。西予市全体の商業者への補助が、グループ補助金、持続化補助金、復興補助金を含めてほしい7億円程度になるとされています。一部、復興に至っていない事業者があるので、今後も行政と一緒に支援をさせていただきたいと思います。 今回は国の政策との整合性や市政懇談会を受けての市民の意見を反映させることや統計上の数字の修正や人口の変更など、提案をさせていただきましたところ、最後まで慎重審議いただきましたこと、ありがとうございました。 今回の審議会は本日一日だけではあるが、佐藤委員の言葉にもあったように、絵に描いた餅にならないように本計画を実行性のあるものにつなげていただきますよう、今後ともそれぞれの立場でご協力をお願いいたしまして、本日の会を閉じさせていただきます。</p>